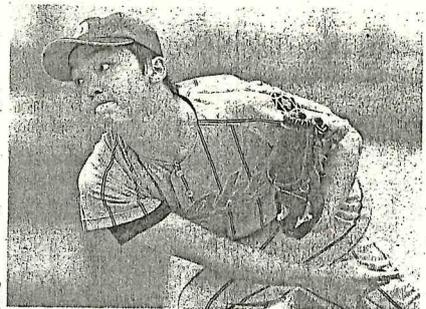


# 大崎猛攻突き放す

## 夏 高校野球 都大会

夏の全国高校野球大会の東京都大会は8日、2回戦計7試合が行われ、新宿や日体大荻原などがコールドで勝利した。大崎や足立新田なども3回戦へ駒を進めた。9日は東大会で2回戦計5試合が予定されている。



大崎一黒 力投する大崎の投手・渡辺

### 東東京

#### 渡辺好リリーフ

①大崎の渡辺恵大投手(3年)が、ロングリリーフでチームを勝利に導いた。一回に先発投手が相手打線に捕まり、早々にマウ

ンドに上がったが、相手打者の癖を見極めるなどして「準備はできていた」という。

1才63と小柄な体格ながら、腕を大きく使った横手投げで低めに球を集め、要所を抑えた。左脚がつりそうになった最終回は仲間の「思い切りいけ」の声を支えに投げきった。

#### きのこの結果

##### 東東京

▽2回戦

◇神宮球場…◇

桐ヶ丘三商千早 100 000  
新 宿 06175X 281  
(5回コールド)

大崎 024 1000 5000  
目黒 050 0000 110 712  
成城 510 0000 011  
桜修館 100 0000 001 18

◇JFAセットスタジアム江戸川…◇

墨田工 012061 010  
大山 0000000 0

◇大田スタジアム…◇

田園調布 0210000 0  
日体大荻原 025230X 123  
蒲田・中野工・六郷工  
100201 001  
荒 121000 002X 6.5  
川 工

1、2年生の夏は登板できずに初戦敗退した。在学中の夏の公式戦初勝利を目指し、冬場は筋力トレーニングで下半身を鍛え、スタミナを強化。綿引良宏監督から「中継ぎのエース」と称されるようになった。この日は終盤まで安定した投球を見せ、「悔しい思いを晴らすことができた」と笑顔を見せた。

大崎一黒 2回2死満塁、目黒の2塁走者・河野(左)をタッチアウトにする大崎の捕手・熊谷(8日、神宮球場)。(後藤嘉信撮影)